

「体験」と「言葉」をつなぐ教育

文部科学省教科調査官 田村 学

学校教育や子どもの世界では、体験の重要さが何度となく語られてきた。それは、子どもたちの自然体験

や直接体験が減少していること。その結果、子どもの成長に好ましくない影響が生み出ていることなどに起因する。しかし、一方で、「体験あつて学びなし」と言われるように、体験ばかりしているものでもあり、「言葉」と「言葉」は共に支え合い、その両者をつなぐ教育が求められているのである。「食農教育」2007年

こうしたなか、今まさに、体験したことを学びへと高めていく教育の進化と発展が求められている。これまでの多くの優れた教育実践の中には、「体験」を質的に高める配慮が十分に用意されており、そこには「言葉」が存在していたのである。それと同時に、「体験」は「言葉」を豊かにしていくものでもあり、「体験」と「言葉」は共に支え合い、その両者をつなぐ教育が求められているのである。「食農教育」2007年

3月号の特集「体験でみかく国語力」には、「体験」を通して「言葉」を豊かにしていく実践事例や子どもが求められている。これまでに多くの優れた教育実践の中には、「体験」を質的に高める配慮が十分に用意されており、そこには「言葉」が存在していたのである。それと同時に、「体験」は「言葉」を豊かにしていくものでもあり、「体験」と「言葉」は共に支え合い、その両者をつなぐ教育が求められているのである。「食農教育」2007年

表現したり、伝え合ったりすることで質的に高まっていく。「言葉」を使って子どもは「体験」を見つめ、自分自身にとっての意味や価値へと高めていくからである。一方、国語の時間では、育つ力や「言葉」は、総合的な学習の時間や生活の中における「体験」を通して確かにになり、豊かになっていく。

「食農教育」は、時代を先取りした特集やアイディア溢れる素材研究、地域や生活現実と結びついた連載などで構成されており、新しい時代の教育を考えさせてくれる教育雑誌となっている。是非とも、多くの実践者に読んでほしい一冊である。



学つて食の見える大豆の「食農教育」2007年3月号より
大豆の「食農教育」2007年3月号より
大豆の「食農教育」2007年3月号より
大豆の「食農教育」2007年3月号より

国語の「食農教育」2007年3月号より
国語の「食農教育」2007年3月号より
国語の「食農教育」2007年3月号より
国語の「食農教育」2007年3月号より

こうした取組は、総合的な学習の時間と教科国語との関連と相乗効果を分かりやすいものとして示している。体験的な学習が特色である総合的な学習の時間とは、国語との関連を図り、

子ども「えー!? 先生、これワラビじゃないよ。センマイだよ。五月に猪野山に行ったとき、とったもん」先生「そうだね。この人は山でセンマイをとっているんだね。じゃあ、質問です。この人はセンマイとりのプロでしようか? 素人でしょうか?」子ども「素人だと思えます。だって、目の前にあるセンマイをむしって、うしろのセンマイを見逃しているもん」子ども「山菜を（次面へ）」

子ども「私はプロだと思えます。おばあちゃんから聞いたけど、来年また生えてくるように二・三本わざと残すんです」子ども「へえー」先生「では、この写真を見てください。『山菜、きのこ、樹木の採取を禁ず』と書いてあるね。これは、五月に猪野山に行ったときに撮った写真だね。この看板は誰に向けてかかれたものだろう?」子ども「山菜を（次面へ）」

「昭和の暮らし」の写真で読解力を高める

新潟県上越市立高志小学校 館岡真一先生の授業

写真からなにを読みとる?

上越市立高志小学校六年一組の総合的な学習の時間のテーマは「里山」。市内山間部の猪野山地区で山菜や魚を探ったり、そこで暮らす人びとの話を聞いたたり

子ども「服がボロイ」「頭ね」

子ども「えー!? 先生、これワラビじゃないよ。センマイだよ。五月に猪野山に行ったとき、とったもん」先生「そうだね。この人は山でセンマイをとっているんだね。じゃあ、質問です。この人はセンマイとりのプロでしようか? 素人でしょうか?」子ども「素人だと思えます。だって、目の前にあるセンマイをむしって、うしろのセンマイを見逃しているもん」子ども「山菜を（次面へ）」

子ども「私はプロだと思えます。おばあちゃんから聞いたけど、来年また生えてくるように二・三本わざと残すんです」子ども「へえー」先生「では、この写真を見てください。『山菜、きのこ、樹木の採取を禁ず』と書いてあるね。これは、五月に猪野山に行ったときに撮った写真だね。この看板は誰に向けてかかれたものだろう?」子ども「山菜を（次面へ）」

子ども「山菜を（次面へ）」

食農教育関連図書

農文協

TEL 03(5660)1141
FAX 03(5660)1142

実践編 (社)佐賀県栄養士会編
食育活動実践の手引き。各分野の専門家のアドバイス、優良事例15件を通して、目標・計画づくり、組織づくり、活動の進め方などを具体的に解説。
食の検定
公式テキストブック 食農3級
総監修・吉田企世子、食の検定協会編
6月から始まる食の検定試験。日本の食を基本に食農への知識、理解を深める試験に合わせたテキスト。●2625円

食で育む
生きるちから

小茂樹他編著
園庭を畑に変えた保育士の熱い想い。映画化された栽培実践に、教育、美術、栄養、保健などの専門家が見た豊かな教育的可能性。
●1700円

食農保育



鈴木善次監修、朝岡幸彦・菊池陽子・野村卓編著
●1800円

食農で教育再生
保育園・学校から社会教育まで

体験を生かし、「読解力」を高める授業づくり

雑誌「食農教育」の記事から

「採ったセンマイは、そでを取って袋状にした古着のなかに入れる。すでになんていっている先生「そうだよー。ほかの地域の人へのメッセージなんだね。でも、先生、この看板はとっても不親切だなー、って思います。へなげとっちゃいけないか?」が書かれていないから。これだと、山菜をとりについた人も納得できないんじゃないかな? きみたちなら、なんて書く? いま配ったプリントに、私ならこう書きます、というのを書き込んで、この二枚の写真を写しての感想を二五〇字で書いてください」。

フィンランドの教科書に頼らずとも

写真や挿絵、グラフなどの資料から情報を読みとって、自分の考えを書き表すPISA型読解力が注目され、フィンランドの国語の教科書を翻訳した本が売られている。その教科書を使っていた京都市立御所南小学校の「読解力メソッド」の研究授業を見て、館岡先生は大会に刺激を受けた。挿絵一つから、どんな活発な意見がでてくるのだ。「衝撃的でした。写真や挿絵は飾りだと思っていたから」。さっそく、例の教科書を購入し、授業に取り入れてみよう、と思った。

しかし、一冊二〇〇〇円の本を全員分そろえるのもむずかしい。なんとかせねばと資料をあさるうちにいきあたったのが、「写真ものがたり 昭和のくらし 2 山村」(農文協)にあった写真だ。

「この本いいですね。社会科や総合でこんな写真があったらなー、と思うものがバッチリある。おはあちゃんか力マドで料理をしたり、お風呂のお湯を沸かしたり」。

人が写り込んでいる昔の生活写真は、意外と少ない。言葉で伝えても、いまの子



「採ったセンマイは、そでを取って袋状にした古着のなかに入れる。すでにかなりはいっているようで、重くたれている。手前のセンマイは、来年のために採り残した。(1981年、福島県楡枝岐村、撮影・小見重義)」授業ではこの解説を抜いて写真だけを配った。



図工のポスター制作では「春の猪野山」をテーマに。「自分で猪野山に行って色をつけてもらうために、黒い部分を残しました。」

に想像ができない。フィンランドの教科書に頼らずとも、探せばみつかる、やさぶる授業術 in 上越⑥」ればできるものである。「結果的に総合での活動と授業を関連づけることができたので、よかったですよ」。

協刊、5250円

中国の故事民話



悪者をこらしめる傾知話、中国の七夕伝説、冒險ファンタジー・龍退治:どこかで聞いたことのある話から、初めて読む奇想天外な物語まで。

全6巻 沢山晴三郎訳、沢山生也編、A5判、小中以上向 ●各1500円、揃9000円

漢民族編

- ①地主や役人をやりこめる傾知話
- ②天女の恋、神様の伝説など
- ③民話の面白さ、ぎっしり

少数民族編

- ①モンゴル族・チュアン族・サニ族・ヌン族
- ②カザフ族・ウイグル族
- ③ミヤオ族・チベット族

農文協

東京都港区赤坂7-16-1
TEL03(6400)1114
FAX03(6400)1103

調べてみよう

ふるさとの産業・文化・自然



地域の伝統行事や文化、歴史、各地の特色ある産業、身近な環境保護の取り組み「地元の人へのインタビュー」と実際に訪れた印象、資料・統計をもとに、調べ学習にぴったり。

全6巻 監修・中川重年、A B判、小中以上向 ●各3150円、揃18900円

- 1 日本列島の農業と漁業
- 2 地域の伝統行事
- 3 地場産業と名産品1
- 4 地場産業と名産品2
- 5 特色ある歴史と風土のまち
- 6 恵まれた自然と環境を守る